



日本最大の駅伝シリーズ最終戦 「EKIDENカーニバル2002 西東京大会」開催される



9月29日(日)、東京都立川市の国営昭和記念公園において、EKIDENカーニバル2002西東京大会が開催された。

EKIDENカーニバルはシリーズ大会で、主に春と秋に、北は北海道から南は福岡まで全国10都市で開催され、西東京大会はその最終戦にあたる。

今大会の参加者数は7320名(1830チーム)で、日本の駅伝大会では、今年最多の参加者数を記録した。またシリーズ大会としても規模・参加者数共に、日本最大となった。

当日は気温30℃を越える中、ショート(12km)と、ロング(23km)の部に分かれ、それぞれ4区間、たすきがつながれた。

参加者の顔ぶれは、家族連れ、友人、職場の仲間、スポーツクラブの仲間連れなど様々。仮装チームも多数見られ、フルマラソンに比べ、ファンラン派もかなりの割合を占めるのが大きな特長だ。

一方ベテランランナーたちも、その健脚を披露。走友会の定例行事としての参加や、記録を狙う学生競技者たちの出場など、どうやらチームの目的ごとに楽しめるのが、EKIDENカーニバルの人気の理由のようだ。



大会データ

リポビタンDカップ EKIDENカーニバル2002西東京大会
開催日: 2002年9月29日(日)
開催地: 東京都立川市・昭島市 国営昭和記念公園
主催: EKIDENカーニバル2002実行委員会
(読売新聞東京本社・報知新聞社・日本テレビ放送網・ランナーズ)
特別協賛: 大正製薬株式会社
協賛: 象印マホービン株式会社、ハウス食品株式会社
天気: 晴れ時々曇り 最高気温: 31.6℃
参加者数: 7320名



ロングの部 4992名(1248チーム) 10.4km/5.2km/3km/5.2km
ショートの部 2328名(582チーム) 5.2km/3.0km/1.3km/3.0km

市民ランナーのための 駅伝を追求し続けて——

1991年、ランナーズは、現在のEKIDENカーニバルの前身となる「三井海上全国縦断市民駅伝」を立ち上げ、6月の北海道札幌大会を皮切りに、全国6地区開催に向けてスタートした。「競技色の強い駅伝を、誰もが気軽に参加できるものに」との主旨で設けられた市民ランナーのための大会で、当時は、札幌の後、みちのく、東京、名古屋、大阪、福岡と、文字通り日本を縦断する形で開催されていた。

この駅伝シリーズは今年で12回目を数え、2001年よりEKIDENカーニバルと名を変えたが、大会の主旨は今も変わらず、レベル、性別、年齢の垣根を超えた誰もが楽しめる駅伝大会としてあり続けている。

近年、大会のエンターテインメント性が求められ、健康、仲間、家族というキーワードが重視されていく中、社会のニーズに合致したランニング大会の在り方を象徴した一例と言ってよいだろう。



仮装ランナーが多いのも特長のひとつ



待ち時間にも楽しめるような色々なサブイベントを行っている



リポビタンDカップ EKIDENカーニバル2002



シリーズ報告



大会名	日時	開催地	参加者数	チーム数	内訳	
					ロング	ショート
広島大会	4月20日(土)	広島広域公園 (広島県広島市安佐南区)	612	153	67	86
中部大会	4月28日(日)	国営木曾三川公園 (岐阜県海津郡)	1,336	334	183	151
福岡大会	5月12日(日)	国営海の中道海浜公園 (福岡県福岡市)	1,476	369	244	125
みちのく大会	5月19日(日)	国営みちのく杜の湖畔公園 (宮城県川崎町)	916	229	106	123
東東京大会	5月26日(日)	北区荒川河川敷 (東京都北区)	4,048	1,012	703	309
金沢大会	6月2日(日)	犀川まめだ大橋上流広場 (石川県金沢市)	636	159	49	110
四国大会	6月9日(日)	国営讃岐まんのう公園 (香川県仲多度郡)	592	148	69	79
札幌大会	6月16日(日)	モエレ沼公園 (北海道札幌市)	1,076	269	130	139
大阪大会	9月15日(日)	万博記念公園 (大阪府吹田市)	3,056	764	433	331
西東京大会	9月29日(日)	国営昭和記念公園 (東京都立川市)	7,320	1,830	1,248	582
合計			21,068	5,267	3,232	2,035